

講習名	主な受講対象者	時間	講習形態
教育改革の動向と様々な問題に対する組織的対応の必要性(高等学校) ※M009と同内容です	高等学校教諭	6H	インターネット講習 (オンデマンド型)
開設期間	講師名(所属・職名等)		
令和3年8月11日～10月11日	竹村 謙司(奈良教育大学・准教授) 小崎 誠二(奈良教育大学・准教授) 阪部 清(奈良教育大学・特任准教授)		
定員			
40人			

【講習の概要】

項目	・学習指導要領の改訂の動向等 ・様々な問題に対する組織的対応の必要性				
内容	社会状況の変化に伴い、学校教育に対する関心も高まり、学校が果たさなければならない役割と学校への期待は大きくなっている。講習では、高等学校学習指導要領の改訂、国の審議会の状況等教育改革の主要な動向について考察する。また、学校の現状を踏まえ、学校経営、組織の在り方、安全確保、学校と家庭・地域社会との連携・協力等に関わる様々な問題に対する組織的対応の必要性について考察する。				
【小テーマ①】	項目	教育改革の動向と様々な問題に対する組織的対応の必要性			
	内容	<input checked="" type="radio"/> 高等学校学習指導要領改訂の動向等			
講習形態	講義形式				
講習内容	高等学校学習指導要領の変遷や改定の背景を踏まえながら、現行学習指導要領の総則の趣旨について理解を深めるとともに、今回の改訂に向けた方向性を整理する。また、生徒の学習意欲を喚起する学習指導や教育課程の編成・改善について考える。				
到達目標・確認指標	高等学校学習指導要領の改訂の動向等について理解している。高等学校学習指導要領の改訂など教育課程の編成に係る動向等について理解し、説明することができるか。				
キーワード	キー・コンピテンシー、主体的、対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)、カリキュラム・マネジメント				
【小テーマ②】	項目	教育改革の動向と様々な問題に対する組織的対応の必要性			
	内容	<input checked="" type="radio"/> 高等学校における様々な問題に対する組織的対応の必要性			
講習形態	講義形式				
講習内容	様々な教育課題を抱える学校の現状を踏まえ、今日的課題に即応した学校における教育活動の見直しや、チームとしての学校の在り方、学校評価、学校における働き方改革等について共に考察し、組織的対応の必要性と組織の一員としての教員の役割や日常的なコミュニケーションの重要性について理解を深める。				
到達目標・確認指標	様々な問題に対する組織的対応の必要性について理解している。様々な問題に対する組織的対応の必要性について、校内外での自らの役割と関連付けながら理解し、説明することができるか。				
キーワード	チームとしての学校、学校評価、同僚性、コミュニケーション				
【小テーマ③】	項目	教育改革の動向と様々な問題に対する組織的対応の必要性			
	内容	<input checked="" type="radio"/> 高等学校学習指導要領改訂の動向等			
講習形態	講義形式				
講習内容	高等学校学習指導要領改訂を含む、高大接続改革を中心に理解を深めるとともに、国際的な学力調査等の結果を踏まえ、今後必要とされる高等学校教育の在り方について考察する。				
到達目標・確認指標	教育改革の動向の概要を理解している。教育改革の動向の概要を理解し、説明することができるか。				
キーワード	学習指導要領、授業改善、学力の3要素、学習到達度調査、高大接続改革				
【小テーマ④】	項目	教育改革の動向と様々な問題に対する組織的対応の必要性			
	内容	<input checked="" type="radio"/> 高等学校における様々な問題に対する組織的対応の必要性			
講習形態	講義形式				
講習内容	平成31年4月の中央教育審議会で新時代に対応した高等学校教育の在り方として諮問された、文系・理系の類型に関わらず学習指導要領に定められた様々な科目をバランスよく学ぶことやSTEAM教育の推進について、カリキュラム・マネジメントの視点から、内容の理解と今後の実践について考察する。				
到達目標・確認指標	カリキュラム・マネジメントの視点から、人材活用も含め産学連携や地域連携によるSTEAM教育のあり方について理解し、説明することができるか。				
キーワード	STEAM教育、カリキュラム・マネジメント、学校運営、地域連携、産学連携、校種間連携				
試験方法	各小テーマの最後に10分程度の筆記試験を行う。				
成績評価の方法・基準等	演習課題及び試験の成績で判断する。(演習課題10点+試験15点×4テーマ=100点満点) 評価基準は、総合点で60点以上を合格とする。				